

名古屋港管理組合DX推進計画

年次レポート

令和5年度版

目次

1. 名古屋港管理組合DX推進計画の概要
2. 令和4年度～令和5年度の実施状況（概要）
3. 進捗管理指標の状況
4. 令和4年度～令和5年度の実施状況（各実施項目）

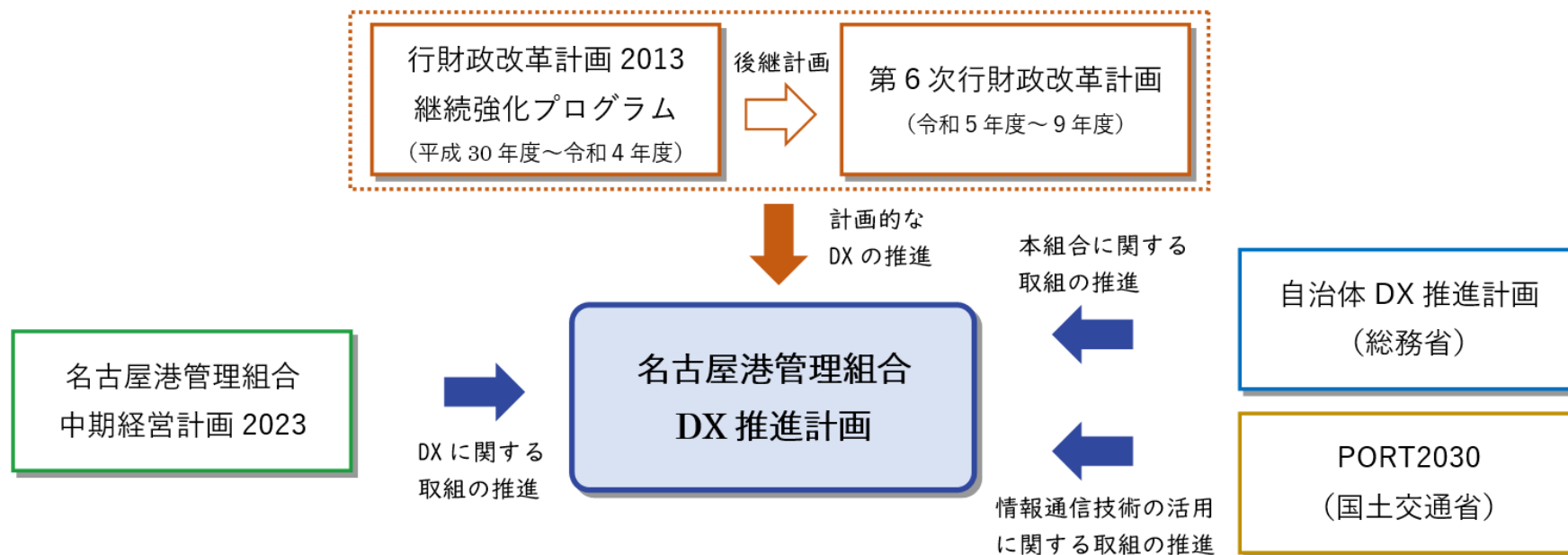
名古屋港管理組合DX推進計画の概要 (1/3)

■ 目的

「本組合行政のデジタル化」及び「港湾物流のデジタル化」の取組を着実に進め更に加速させるため、デジタル技術やデータを活用した変革の推進について、方向性と具体的な取組を示す

■ 位置付け

「行財政改革計画2013継続強化プログラム」(令和4年3月一部改正)や「名古屋港管理組合中期経営計画2023」(令和4年2月改訂)におけるDXに関する取組をより具体化し推進するとともに、国の「自治体DX推進計画」(総務省)や「港湾の中長期政策(PORT2030)」(国土交通省)の本組合に関する取組も含めて、包括的かつ体系的に整理することにより、**本組合のDXを戦略的に推進**



名古屋港管理組合DX推進計画の概要 (2/3)

■ 計画期間

令和4年度から令和8年度まで

■ 基本方針

1 本組合行政のデジタル化

デジタル技術やデータを活用して、行政サービスの向上や業務効率化の概念を根底から変化させ、業務・組織・文化・風土・働き方の変革を推進

2 港湾物流のデジタル化

港湾のスマート化に向けた取組を推進するとともに、民間事業者が取り組んでいる名古屋港の港湾物流情報のデジタル化や情報通信技術を活用したコンテナターミナルの高度化に向けた先進的な取り組みが進むよう関係者と連携・協力

■ 重点目標

1 行政サービスの向上

デジタル技術やデータを活用することにより、行政サービスの変革を推進

2 行政事務のデジタル改革

デジタル技術やデータを活用することにより、行政事務の変革を推進

3 自治体DX推進計画への対応

自治体DX推進計画における7つの重点取組事項のうち、本組合に関係する3つの重点取組事項に取り組むことにより、業務・組織・文化・風土・働き方の変革を推進

4 港湾管理・港湾インフラ情報のデジタル化

クラウド上に構築を進めている国のサイバーポート(港湾管理・港湾インフラ)などの活用について検討し、港湾行政分野におけるDXを着実に推進

名古屋港管理組合DX推進計画の概要 (3/3)

■ 対象範囲と主な取組

本組合行政のデジタル化

重点目標 2 行政事務のデジタル改革

- 財務会計システムの再構築
- 港湾管理情報システムの再構築
- 電子決裁の導入
- ノーコードツールを活用した業務改革
- 災害対応業務のデジタル化
- 電子契約の導入

重点目標 3 自治体DX推進計画への対応

- AI・RPAの利用推進
- テレワークの推進
- 情報セキュリティ対策の徹底

重点目標 1 行政サービスの向上

- 港湾行政手続のデジタル化
- 港湾施設利用実績のWeb提供

重点目標 4 港湾管理・港湾インフラ情報のデジタル化

- 港湾行政手続のデジタル化（再掲）
- 調査・統計業務の効率化
- 港湾計画から維持管理までのインフラ情報のデジタル化
- ICTの活用による工事施工管理の効率化

港湾物流のデジタル化

港湾物流情報のデジタル化

- サイバーポート（港湾物流）への対応

コンテナターミナルの高度化

- NUTS secondへの対応
- 遠隔操作RTGの導入への対応
- 新たな技術や仕組みを活用したコンテナターミナルの高度化に向けた取組の推進

※赤字：令和6年度追加項目

令和 4 年度～令和 5 年度の取組状況

(概要)

- **本組合行政のデジタル化**の状況（重点目標 1 ～ 4 ）
- **港湾物流のデジタル化**の状況（1 ～ 2 ）

重点目標 1 行政サービスの向上

■ 取組の方向

デジタル技術やデータを活用することにより、行政サービスの変革を推進

■ 主な取組内容（令和4年度～令和5年度の実績）

- **港湾行政手続のデジタル化**について、サイバーポート(港湾管理分野)の活用に向け、対象手続やシステム連携、導入時期等を検討
- **港湾施設利用実績のWeb提供**について、システム化のイメージを検討（業務フロー等を作成）、基本仕様書の作成等、調達に向けた準備を実施

重点目標 2 行政事務のデジタル改革

■ 取組の方向

デジタル技術やデータを活用することにより、行政事務の変革を推進

■ 主な取組内容（令和 4 年度～令和 5 年度の実績）

- **財務会計システムの再構築**について、システム要件を決定し、再構築に着手
- **港湾管理情報システムの再構築**について、基本仕様書の作成等、調達に向けた準備を実施
- **電子決裁の導入**について、文書事務は令和 4 年度から電子決裁を導入（電子決裁率97%）、経理事務は財務会計システムの再構築で電子決裁の導入に向けた検討を実施
- **ノーコードツールを活用した業務改革**について、業務への適用可能性を検討、ツールの評価・試行を実施
- **災害対応業務のデジタル化**について、ドローンや港内カメラを導入、収集した情報の共有方法・活用の検討を実施、防災情報サブシステムによる関係機関との情報共有について訓練を実施

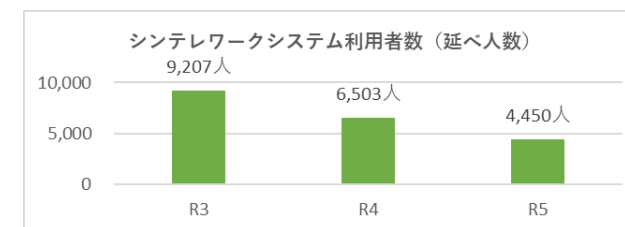
重点目標 3 自治体DX推進計画への対応

■ 取組の方向

自治体DX推進計画における 7 つの重点取組事項のうち、本組合に関係する 3 つの重点取組事項に取り組むことにより、業務・組織・文化・風土・働き方の変革を推進

■ 主な取組内容（令和 4 年度～令和 5 年度の実績）

- **AI・RPAの利用促進**について、会議録の作成に音声認識 AI システムを活用、生成AIの活用に向けたガイドライン案を検討
- **テレワークの推進**について、年間を通じて職員の 5 割（令和 4 年度は 6 割）がシン・テレワークシステムを利用（令和 5 年度の延べ利用者数は4,450人）
- **情報セキュリティ対策の徹底**について、情報セキュリティポリシーの改正や情報セキュリティ研修を実施（令和 5 年度は職員一人につき一講座で実施）



重点目標 4 港湾管理・港湾インフラ情報のデジタル化

■ 取組の方向

クラウド上に構築を進めている国のサイバーポート(港湾管理分野・港湾インフラ分野)などの活用について検討し、港湾行政分野におけるDXを着実に推進

■ 主な取組内容（令和4年度～令和5年度の実績）

- **港湾行政手続のデジタル化（再掲）**について、サイバーポート(港湾管理分野)の活用に向け、対象手続やシステム連携、導入時期等を検討
- **調査・統計業務の効率化**について、汎用性の高い調査票作成支援ツールを開発・作成・配布・利用促進、サイバーポート（調査・統計）との連携に向け、対応を検討
- **港湾計画から維持管理までのインフラ情報のデジタル化**について、維持管理に関する既存資料の整理を実施
- **ICTの活用による工事施工管理の効率化**について、「名古屋港管理組合 i-Construction」の方針・施策を公表し、試行工事を実施

1 港湾物流情報のデジタル化

■ 取組の方向

物流プラットフォームの連携などにより、港湾物流情報のデジタル化を推進

■ 主な取組内容（令和4年度～令和5年度の実績）

- サイバーポート（港湾物流）への対応について、サイバーポート進捗管理WG（港湾物流分野）に参画し、取組状況や機能改善等についての情報収集および国や名古屋港の港湾事業者等との意見交換を実施

2 コンテナターミナルの高度化

■ 取組の方向

民間事業者が進める情報通信技術を活用した先進的な取組に積極的に協力し、良好な労働環境とコンテナターミナルの生産性向上を図る

■ 主な取組内容（令和4年度～令和5年度の実績）

- **NUTS secondへの対応**について、ターミナル到着前にトレーラーからコンテナ情報を受信する取組のトライアル検討に向けた意見交換およびサイバーセキュリティ強化対策等への支援・協力
- **遠隔操作RTGの導入への対応**について、進捗状況の把握および事業への協力
- **新たな技術や仕組みを活用したコンテナターミナルの高度化に向けた取組の推進**について、国の取組等の情報収集や名古屋港のターミナル事業者等と新たなシステム開発の検討

進捗管理指標の状況

■ 本組合行政のデジタル化の状況

進捗管理指標の状況（本組合行政のデジタル化）

重点目標	進捗管理指標	数値目標	計画当初 (令和3年度)	令和5年度末 実績
1 行政サービスの向上	デジタル化した港湾行政手続数	20手続	8手続	8手続
	港湾施設利用実績におけるW e bによる情報提供件数	120件／年	－	－
2 行政事務のデジタル 改革	電子決裁率	95％	－	97％
	ノーコードツール活用業務数(累計)	30業務	－	－
	災害時におけるドローンや情報共有システムなどの活用回数	－	－	－
3 自治体DX推進計画への 対応	AIの活用業務数(累計)	3業務	1業務	1業務
	RPAの活用業務数(累計)	10業務	－	－
	テレワーク時、リモート接続利用者数(当年度の延べ人数)	－	9,207人	4,450人
	情報セキュリティ研修（eラーニング）受講者数(当年度の延べ人数)	2講座／年・職員	2講座／年・職員 (延べ1,092人)	1講座／年・職員 (延べ552人)
4 港湾管理・港湾イン フラ情報のデジタル化	統計業務における調査票作成支援ツール利用報告者数	45者	－	25者
	サイバーポート(港湾インフラ分野)の活用に向けた既存資料の整理件数	82件	－	31件
	ICTを活用した業務数	3業務	－	3業務

表中の「－（ハイフン）」は取組未着手又は未実施を示す。

令和 4 年度～令和 5 年度の取組状況

(各取組項目)

- **本組合行政のデジタル化**の状況（重点目標 1 ～ 4 ）
- **港湾物流のデジタル化**の状況（ 1 ～ 2 ）

重点目標 1 行政サービスの向上

No.	取組項目	取組概要	担当課	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1	港湾行政手続のデジタル化	サイバーポート（港湾管理分野）などを活用した港湾行政手続のデジタル化を推進する。	港営課 行政管理課	計画	検討・準備		サイバーポート活用の推進（サイバーポートの実装状況に応じ）		
				取組実績	対象手続の候補案等を検討	サイバーポート（港湾管理分野：手続）の令和6年2月からの本格運用開始に向け、対応を検討	令和8年度までのシステム導入に向け、電子化された手続の仕様や独自システムとの連携の確認・検討		
					進捗管理指標：デジタル化した港湾行政手続数（数値目標：20手続）				
					累計8手続（NACCS対象手続）	累計8手続（NACCS対象手続）			
2	港湾施設利用実績のWeb提供	港湾施設利用実績について、Webを活用した情報提供を推進することにより、港湾利用者がいつでも自身の利用状況や履歴を確認できるようにする。 （重点目標2 No.2「港湾管理情報システムの再構築」の一環で本取組を推進）	会計課 海務課 港湾管理事務所 行政管理課	計画	再構築に向けた準備		再構築		新システム稼働
				取組実績	業務フロー等を検討	調達に向けた準備	調達に向けた準備および調達の実施		
					進捗管理指標：港湾施設利用実績におけるWebによる情報提供件数（数値目標：120件／年）				
					—	—	—	—	

令和6年度の実績欄は予定を示す。

重点目標 2 行政事務のデジタル改革（1／3）

No.	取組項目	取組概要	担当課	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1	財務会計システムの再構築	現行パッケージシステムの保守満了に伴い、バージョンの更新を行うとともに、パッケージシステムに合わせて業務を標準化・効率化する。	財政課 会計課 調整担当 港営課 管理課 行政管理課	計画	調査・検討	再構築	新システム稼働		
				取組実績	カスタマイズの抑制、パッケージ機能の更なる活用等を検討	システム要件を決定し、再構築に着手	令和7年1月の稼働に向け、引き続きシステム構築を実施		
2	港湾管理情報システムの再構築	稼働後約27年経過した現行システムについて、最新技術を用いてシステムを刷新するとともに、時代の変化に合わせて、事務処理やシステム機能の見直しを行う。	会計課 海務課 港湾管理事務所 行政管理課	計画	再構築に向けた準備	再構築	新システム稼働		
				取組実績	基本仕様書を作成	調達に向けた準備	調達に向けた準備および調達の実施		
3	電子決裁の導入	事務の効率化等を推進するため、電子決裁を導入する。 文書事務については、文書管理システムの導入に合わせて導入する（令和4年4月導入済み）。 経理事務については、No.1「財務会計システムの再構築」に合わせて導入する。	総務課 財政課 会計課 行政管理課	計画	文書管理システム稼働（①）				
					財務会計システム（②）				
					調査・検討	再構築	新システム稼働		
				取組実績	4月から文書管理システム稼働（①）	財務会計システムの再構築に着手（②）	経理事務への電子決裁導入に向け、運用等を検討		
					進捗管理指標：電子決裁率（数値目標：95%）				
					文書：97% 経理：－	文書：97% 経理：－			

令和6年度取組実績欄は予定を示す。

重点目標 2 行政事務のデジタル改革（2／3）

No.	取組項目	取組概要	担当課	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
4	ノーコードツールを活用した業務改革	ノーコードツールを活用することにより、庁内事務のデータや情報をデジタル化・一元化するとともに、事務プロセス全体をデジタル化する。	行政管理課 関係各課	計画	調査・検討	ノーコードツールを活用した業務改革（適用業務の順次拡大を推進）			
				取組実績	業務への適用可能性を検討	ツールの評価、試行を実施	ツールの調達、活用の推進		
				進捗管理指標：ノーコードツール活用業務数（数値目標：30業務）					
					—	—			
5	災害対応業務のデジタル化	ドローンや情報共有システムなどを活用して、災害対応業務を効果的・効率的に行う。	危機管理課	計画	検討・準備	ドローンや港内カメラによる被災状況把握（①）			
					防災情報サブシステムによる関係機関との情報共有（②）				
				取組実績	ドローン及び港内カメラを導入（①） 情報共有の訓練を実施（②）	収集した情報の共有の方法や活用に向けた検討（①） 情報共有の訓練を継続（②）	収集した情報の最適な伝達方法や具体的な活用方法の検討（①） 情報共有の訓練を継続（②）		
				進捗管理指標：災害時におけるドローンや情報共有システムなどの活用回数					
					—	—			

令和6年度取組実績欄は予定を示す。

重点目標 2 行政事務のデジタル改革（3 / 3）

No.	取組項目	取組概要	担当課	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
6	電子契約の導入	電子契約を導入することにより、業務の効率化及び民間事業者の利便性の向上を図る。	会計課、行政 管理課	計画			調査・検討	試行	電子契約の推進
				取組実績	—	—	クラウド上で契約を締結できるサービスの調査、契約に係る規程等の改正や運用上の課題について検討		

令和6年度追加

令和6年度の取組実績欄は予定を示す。

重点目標 3 自治体DX推進計画への対応 (1 / 2)

No.	取組項目	取組概要	担当課	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1	AI・RPAの利用促進	国のAI・RPA導入ガイドブック等を参考に、AI・RPAの活用を推進する。	行政管理課 関係各課	計画	議事録等の作成の効率化 (①) 音声認識AIクラウドサービスの活用				
					その他AI・RPAの活用推進 (②) 調査・検討		AI・RPAを活用した業務改革 (適用業務の順次拡大を推進)		
				取組実績	会議録の作成に音声認識AIを活用 (①)	生成AI (ChatGPT等) の活用を検討 (②)	生成AI利用ガイドライン等の整備		
					進捗管理指標：AIの活用業務数 (数値目標：3業務)				
					累計1業務	累計1業務			
2	テレワークの推進	感染症対策や働き方改革の実施状況に合わせて、適宜、テレワーク環境の整備・拡充に取り組む。	行政管理課 職員課	計画	テレワーク環境の継続運用				
				取組実績	6割の職員がシン・テレワークシステムを利用	5割の職員がシン・テレワークシステムを利用	感染症収束の状況等を踏まえ、テレワーク環境の見直しを実施		
					進捗管理指標：テレワーク時、リモート接続利用者数(当年度延べ人数)				
					6, 517人	4, 450人			

令和6年度取組実績欄は予定を示す。

重点目標 3 自治体DX推進計画への対応（2 / 2）

No.	取組項目	取組概要	担当課	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
3	情報セキュリティ対策の徹底	情報セキュリティポリシーについて、国のガイドラインを踏まえ、適宜、見直しを行うとともに、取り扱う情報資産に応じて、適切な情報セキュリティ対策を実施する。	行政管理課 関係各課	計画	適切な情報セキュリティ対策の推進				
					情報セキュリティポリシーの適宜見直し				
				取組実績	情報セキュリティ研修を実施、情報セキュリティポリシーを二度改正	情報セキュリティ研修を実施	情報セキュリティ研修を継続、標的型攻撃メール訓練を実施		
					進捗管理指標：情報セキュリティ研修（eラーニング）受講者数（数値目標 2 講座／年・職員） （当年度延べ人数）				
					2 講座／年・職員 1,032人	1 講座／年・職員 552人			

令和 6 年度の取組実績欄は予定を示す。

重点目標 4 港湾管理・港湾インフラ情報のデジタル化

No.	取組項目	取組概要	担当課	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1	港湾行政手続のデジタル化（再掲）	サイバーポート（港湾管理分野）などを活用した港湾行政手続のデジタル化を推進する。	港営課 行政管理課	計画	検討・準備		サイバーポート活用の推進（サイバーポートの実装状況に応じて）		
				取組実績	対象手続の候補案等を検討	サイバーポート（港湾管理分野：手続）の令和6年2月からの本格運用開始に向け、対応を検討	令和8年度までのシステム導入に向け、電子化された手続の仕様や独自システムとの連携の確認・検討		
					進捗管理指標：デジタル化した港湾行政手続数（数値目標：20手続）				
					累計8手続（NACCS対象手続）	累計8手続（NACCS対象手続）			
2	調査・統計業務の効率化	サイバーポートなどを活用した統計業務のデジタル化について検討し、報告者等の負担軽減や統計業務の効率化を推進する。	企画担当統計センター	計画	調査票作成支援ツール（①） 開発・作成	配布・説明・利用促進			
					サイバーポート（港湾管理分野）の活用に向けた想定スケジュール（②） 検討・準備		サイバーポート活用の推進（サイバーポートの実装状況に応じて）		
				取組実績	調査票作成支援ツールを開発・作成（①）	調査票作成支援ツールの配布・利用促進（①） サイバーポート（調査・統計）との連携に向け、対応を検討（②）	調査票作成支援ツールの利用促進（①） サイバーポート進捗管理WG（港湾管理分野）への参画、サイバーポート（調査・統計）との連携に向け、対応（②）		
					進捗管理指標：統計業務における調査票作成支援ツール利用報告者数（数値目標：45者）				
					—	累計25者			

令和6年度の取組実績欄は予定を示す。

重点目標 4 港湾管理・港湾インフラ情報のデジタル化

No.	取組項目	取組概要	担当課	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
3	港湾計画から維持管理までのインフラ情報のデジタル化	サイバーポートなどを活用した港湾計画から維持管理までのインフラ情報のデジタル化・共有化について検討し、関係者間の情報共有を推進する。	技術管理課	計画	維持管理に関する既存資料の整理				
							サイバーポートの活用（順次拡大）		
				取組実績	既存資料の整理方法を検討	既存資料の整理を開始	既存資料の整理を実施、サイバーポートへの反映		
					サイバーポート(港湾インフラ分野)の活用に向けた既存資料の整理件数（数値目標：82件）				
					—	累計31件			
4	ICTの活用による工事施工管理の効率化	本組合発注工事の施工管理の効率化を図り、受発注者双方の建設現場の働き方改革や生産性を向上させるため、ICTを活用した施策について検討し、i-Constructionの取組を推進する。	技術管理課	計画	検討・準備		試行導入（順次拡大）		
				取組実績	i-Constructionの取組方針・施策導入に向けた検討	取組方針・施策を公表し、試行工事実施を推進	試行の状況を整理、本格導入に向けた検討		
					進捗管理指標：ICTを活用した業務数（数値目標：3業務）				
					—	累計3業務			

令和6年度取組実績欄は予定を示す。

1 港湾物流情報のデジタル化

No.	取組項目	取組概要	担当課	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1	サイバーポート （港湾物流） への対応	名古屋港統一ターミナルシステム（NUTS）の利用を前提として、利用者の意見を聞きながら、国のサイバーポート（港湾物流）の利用について検討を進めるなど、港湾物流手続きの更なるデジタル化を推進する。	企画担当	計画	関係者との情報共有、協議				
				取組実績	サイバーポート進捗管理WG（港湾物流分野）への参画および名古屋港の海貨事業者へのヒアリングを実施	サイバーポート進捗管理WG（港湾物流分野）への参画および国、名古屋港の港運事業者等との意見交換の実施	サイバーポート進捗管理WG（港湾物流分野）への参画および他港湾の取組等の情報収集、整理		

令和6年度の取組実績欄は予定を示す。

2 コンテナターミナルの高度化

No.	取組項目	取組概要	担当課	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1	NUTS second への対応	港湾関係者により進められている更なる効率化を目指したプロジェクト（NUTS second）について、積極的に協力し、港湾物流の効率化を図る。	企画担当	計画	関係者との情報共有、協議				
				取組実績	ターミナル到着前にトレーラーからコンテナ情報を受信する取組における読取装置設置場所の検討への協力	ターミナル到着前にトレーラーからコンテナ情報を受信する取組のトライアルの検討に向けた意見交換 サイバーセキュリティ強化対策等への支援・協力	トライアル検討を含むNUTS secondの取組についての意見交換 サイバーセキュリティ強化対策等への支援・協力		
2	遠隔操作 RTG の導入への対応	港湾関係者により進められている鍋田ふ頭コンテナターミナルに遠隔操作RTGの導入について、積極的に協力し、労働環境の改善と生産性の向上を図る。	企画担当	計画	関係者との情報共有、協議				
				取組実績	進捗状況の把握および事業への協力	進捗状況の把握および事業への協力	進捗状況の把握および事業への協力		
3	新たな技術や仕組みを活用したコンテナターミナルの高度化に向けた取組の推進	ヒトを支援するAI ターミナルやフィジカルインターネットなど新たな技術や仕組みについて、関係者と連携して検討を進めるなど、コンテナターミナルの更なる生産性の向上を図る。	企画担当	計画	関係者との情報共有、協議				
				取組実績	物流・産業の新たな動向の調査や先進的な取組を進める民間事業者等へのヒアリングを実施	国の取組などの情報収集や名古屋港のターミナル事業者等とAI等を活用した新たなシステムの検討	国の取組等の情報収集や名古屋港のターミナル事業者等による技術開発への協力		

令和6年度 of 取組実績欄は予定を示す。

名古屋港管理組合

令和 6 年 9 月